

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大阪市	代表者名	鶴見 一裕		
担当者部署	デジタル統括室	連絡先電話番号	06-6208-7677		
担当者役職	係員	担当者氏名	島 一貴	連絡先E-mail	*****
住所	530-8201 大阪府大阪市北区中之島1-3-20				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	区長及び局長級向け研修の実施に向けて、研修資料に関する認識の共有を行い、よりよい研修に向けた打ち合わせとなったため。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年5月22日	支援・助言	有	令和5年6月15日	716
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年6月21日	支援・助言	16時00分	17時59分	0
				活動時間（分）	119

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	デジタル統括室職員	8人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	区長及び局長級職員におけるICTリテラシー向上とDXに対する意識醸成が課題である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修受講後、区長及び局長級職員がDXの必要性を理解し、高い業務改革意識を持ってもらえるよう講師と研修内容の認識共有を図ること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	研修受講後、区長及び局長級職員がDXの必要性を理解し、高い業務改革意識を持ってもらえるような研修内容になるよう講師に認識していただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	本市における区長及び局長級職員の位置付けを認識していただき、DXの必要性と高い業務改革意識を持ってもらえるような研修内容にさせていただくことができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 この段階では事業支援の途中のためアンケート等を実施しておらず、内容・分析結果ともになし。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 この段階では事業支援の途中のためアンケート等を実施しておらず、内容・分析結果ともになし。	
5-3. 今後の計画 事業の最終的な目指す姿	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



